

平成25年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修 実践編モデル事業 報告

開催日時 8月21日(水) 14時～17時

会場 佛教大学保健医療技術学部(京都市)

参加者数 81名(会員19名、非会員62名)

運営担当 松岡千代(佛教大学)

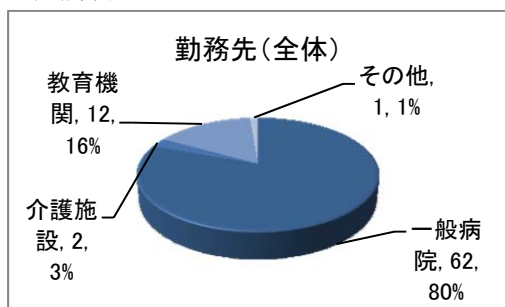
テーマ: 回復過程に応じた高齢者看護の実践(急性期)

- 急性期病院における高齢者ケア～認知症に焦点を当てて～
得居みのり氏 老人看護専門看護師 姫路聖マリア病院地域連携室長・看護管理室師長
- 急性期病院における高齢者ケア～せん妄に焦点を当てて～
酒井郁子氏 千葉大学大学院看護学研究科 教授

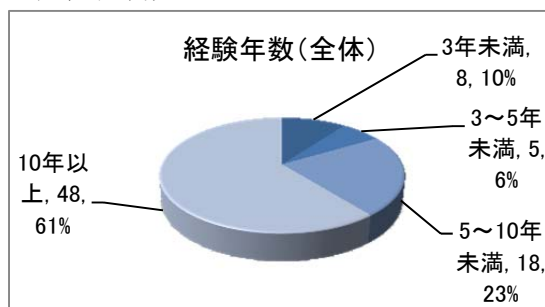
アンケート結果・感想 (有効回答数 79)

1. 参加者の概要

1) 所属



2) 経験年数



3) 研修会を知ったきっかけ(複数回答)

上司の紹介(39)、学会からのメール(16)、学会HP(8)、学会関係者からの紹介・FAX(8)、その他(7)、同僚の紹介(5)、ポスター(4)、ニュースレター(1)

4) 受講動機(複数回答)

テーマに関心があった(60)、上司のすすめ(26)、知識技術を身に付けたい(22)、老年看護の基礎を学びたい(17)、講師への関心(14)、参加費が安い(11)、基礎編受講済(4)、知人のすすめ(3)、会場アクセスが良い(3)

2. 研修会について

1) 研修は期待通りであったか

期待通り 44(59.5%) まあ期待通り 29(39.2%) どちらでもない 1(1.4%) 無回答 5

意見: せん妄のエビデンスは今後の参考になった、急性期病院の特徴をもう少し聞いたかった、具体的維持例をもう少し出してほしい

2) 老年看護における看護師の生涯学習支援について

非常に必要 61(82.4%) まあ必要 13(17.6%) 無回答 5

意見: “老年”という部分に焦点を当てる必要があると思う

3) 今後の老年看護学会主催研修会への参加について

とても参加したい 47(62.7%) まあ参加したい 27(36.0%) どちらでもない 1(1.3%) 無回答 4

4) 感想

- ・とても参考になった
- ・実践・教育に活かせる
- ・実践に即活用できる
- ・今後の看護ケアに活かしていきたい
- ・認知症と食事との関連は深淵であった
- ・認知症・せん妄の患者は苦手であったが自信になった
- ・全国各地で開催してほしい
- ・もう少し時間が長くてよい

5) 今後取り上げてほしいテーマ

認知症・せん妄ケア、エンドオブライフケア、フィジカルアセスメント、高齢者ケア全般: 排泄、身体拘束、睡眠・休息等、倫理関連、老年期うつ病

今後、急性期病院に入院する高齢者はますます増加すると考えられ、高齢入院患者の認知症ケア、せん妄予防ケアはとても重要です。今回、実践編のモデル事業として、この重要なトピックに焦点を絞って研修を行いました。講師の先生方には、最新の知識を取り入れながらも重要なポイントをふまえた、とてもわかりやすい講演をしていただき、参加者からも好評を得ることができました。今後も、多くの方々に参加していただけるように、実践編の企画をしていきたいと考えています。

生涯学習支援研修会 実践編モデル事業担当